

図表 1 純債務でみた日本の財政

—日本は財政危機ではない—
2009 年 12 月末現在

「粗債務 872 兆円」と「金融資産 504 兆円」(中央政府ベース、推計値を含む) (兆円)

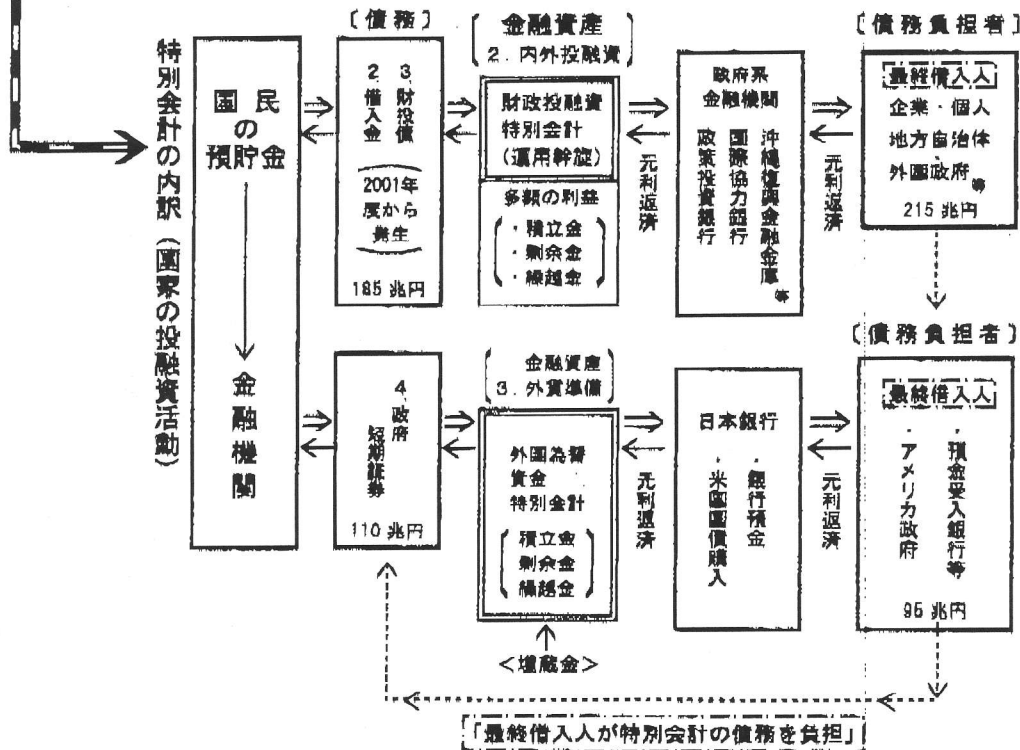
粗債務 (財務省発表)	(関 連)	金融資産 (内閣府、下注)
〔一般会計〕 1 長期国債 577	〔総国債 270 赤字国債 307(推計)〕	〔すべて特別会計〕 国債を 80 兆円 1 社会保障基金 194 近く保有
〔特別会計〕〔295〕 2 借入金 56	185 そのまま投融資等へ→	〔310〕 この中に「積立金」 2 内外投融資等 215 「繰越金」等で、
3 財投債 129	調達した円でドル買い→ →アメリカ国債投資が全体	3 外貨準備 95 70兆円の埋蔵金あり
4 政府短期証券 110		
合 計 872	純 債 務 [365]	合 計 504

地方純債務 約 112 兆円
その他雑債務 約 40 兆円 合計 140 兆円
中央政府と地方政府の債務合計 約 500 兆円

〔出所〕①「粗債務」は財務省発表。「金融資産」は「内閣府国民経済計算 2010」より推計。
②政府は「中央政府の純債務 359 兆円」に、「地方政府の純債務約 103 兆円」と
「その他雑債務」を加えて「国の純債務は約 500 兆円」と言っている。

図表 2 「特別会計の調達と運用」(2009 年末現在)

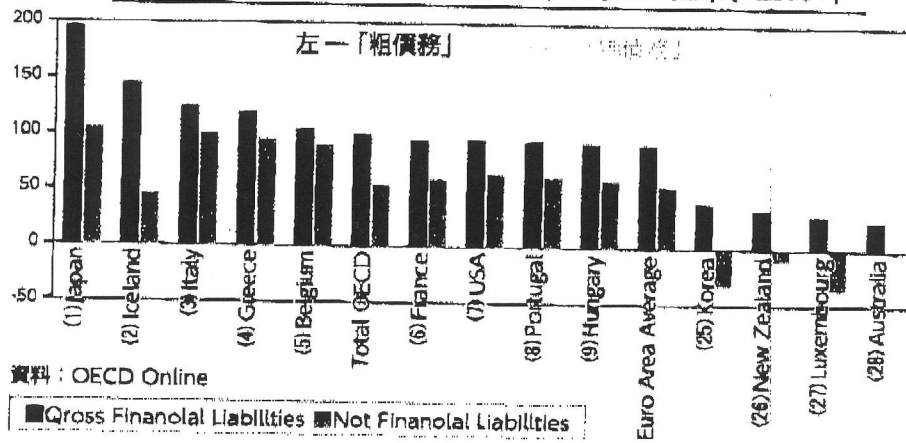
(「特別会計の債務」は国民の負担ではない)



〔出所〕政府公表データより筆者が作成。金融資産は推計値。

1A9-31 左

図表3 先進諸国の政府債務残高の対 GDP 比率、2010 年



- (1) 日本は世界一の債権国 (267 兆円、2009 年末)。ギリシャは債務国。
 (2) 日本は「貿易収支」、「所得収支」とともに黒字。ギリシャはともに赤字。

図表4 「一般会計で特別会計」

(2007 年度決算 推測値を含む)

(兆円)

一般会計歳出総額 81.8	33.9 (41%)	一般会計 純支出	教育・防衛・公共 投資、等
	47.9 (59%)	特別会計	
		歳入	209.0
		歳出	168.7
		国債 (一般会計から)	19.3
		地方交付税 (一般会計から)	14.9
		一般会計からの 繰り入れ等	13.6
		国債	16.8
		借入金	37.4
		その他 [道路特定財源 他] [歳入 前期繰越金など]	72.1
		保険料	34.8
		[年金・医療・ 介護・労働]	
		国民への給付	49.5
		[医療・介護・ 年金・労働]	
		その他 (人件費・経費等)	9.6
		剰余金	42.6

(出所) 前掲「日本医師会総合政策研究機構」

前田由美子氏「日医総研ワーキングペーパー」『特別会計のいま - 2007 年度決算分析 -』

図表5 「一般会計と特別会計の関係」

(2009 年度予算 推測値を含む)

(兆円)

一般会計歳出総額 88.3	39.1 (44%)	一般会計 純支出	教育・防衛・公共 投資、等
	51.4 (58%)	特別会計	
		歳入	282.9
		歳出	261.3
		国債 (一般会計から)	20.2
		地方交付税 (一般会計から)	16.6
		社会保障(一般会計から) 公共事業等	14.8
		国債	83.0
		借入金	44.9
		保険料	35.3
		[年金・医療・ 介護・労働]	
		その他 [道路特定財源 他] [歳入 前期繰越金など]	88.2
		国民への給付	53.0
		[医療・介護・ 年金・労働]	
		その他 (人件費・経費等)	10.0
		剰余金	15.9

(出所) 「日本医師会総合政策研究機構」

前田由美子氏「日医総研ワーキングペーパー」No.200.

『国家財政の分析 - 総予算・独立行政法人・経費金』(2009 年 9 月 8 日)

図表 6 特別会計の埋蔵金

(1) 「2007 年度 (06 年度) 特別会計剰余金」

(「剰余金」=「歳入-歳出」の収支)

() 内は 2006 年度 (兆円)

28 の特別会計	剰余金	処 理 状 況			決算後の 積立金残高 (年金を除く)	年金積立金 残高
		積立金へ	翌年度へ繰越	一般会計へ		
国債整理基金	28.3(34.9)	0 (0)	28.3(34.9)	0	11.1(12.6)	
財政融資資金	2.5(2.8)	2.5(2.8)	0 (0)	0	19.7(17.2)	
外国為替資金	3.9(3.5)	2.1(1.9)	0(3.5)	1.8(1.6)	19.6(17.4)	
交付税及び国庫 配付金	1.2(2.0)	0	1.2(2.0)	0	0	
労働保険	1.3(1.9)	0.9(1.5)	0.4 (0)	0	13.9(12.6)	
年金 旧厚生保険	2.1 (1.3)	0.5 (1.2) (Δ0.1)	1.6 (0) (1.4)	0		127.1(132.2)
旧国民年金	(1.3)					9.0(9.5)
貿易再保険	0.8(0.8)	0.6(0)	0.2(0.8)	0	0.6 (0)	
道路整備	0.8(0.9)	0	0.8(0.9)	0		
その他 合計	1.7(1.6)	0.2(0.1)	1.1(2.0)	0.1 ()	4.0(2.3)	
総合計	42.6(51.0)	6.8(7.4)	33.6(41.5)	1.9(1.6)	68.9(62.1)	136.1(141.7)

→ 合計 102.5(103.6) ← (国民の拠出金)

(注) 積立金残高 13.9 のうち一般会計からの寄与 1.7、
残りは国民の拠出金

(出所) 「日本医師会総合政策研究機構」(前田由美子氏) 作成
『日医総研ワーキングペーパー』
「特別会計のいま -2007 年度決算分析」より作成

年度	(3) 埋蔵金 (兆円)
2006	103.6
2007	102.5
2008	81.5
2009	51.6+α

(2) 「2009 年度見通し (08 年度決算) 特別会計・積立金剰余金」

(「剰余金」=「歳入-歳出」の収支)

() 内は 2008 年度 (兆円)

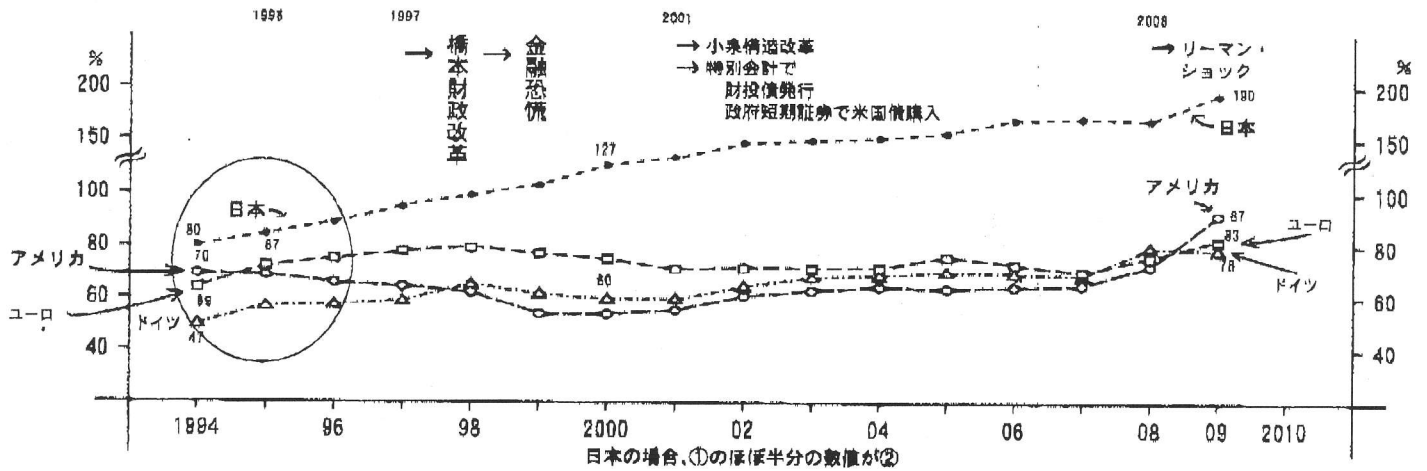
28 の特別会計	剰余金	処 理 状 況			決算後の 積立金残高 (年金を除く)	年金積立金 残高
		積立金へ	翌年度へ繰越	一般会計へ		
国債整理基金	12.0(16.5)	(0)	(16.5)	修正 () 1	11.9(10.9)	
財政投融資資金	1.4(2.3)	(2.3)	()		3.4(10.7)	
外国為替資金	1.8(3.4)	(1.0)	()	(2.4)	20.6(20.6)	
交付税及び国庫 配付金	0.6 ()		()			
労働保険	1.1(1.2)	(0.8)	(0.4)		13.2(14.6)	
年金 増出 Δ5.4	(2.2)	(0.8)	(1.7)	その他 0.6		127.1(131.0)
貿易再保険	()	()	()			
道路整備	()		()			
その他 合計	()	()	()	()	()	
総合計	16.0(28.5)	(4.2)	α (21.4)	(2.4)	51.6(61.1)	127.1(131.0)

→ 合計 51.6+α (82.5) ← (国民の拠出金)

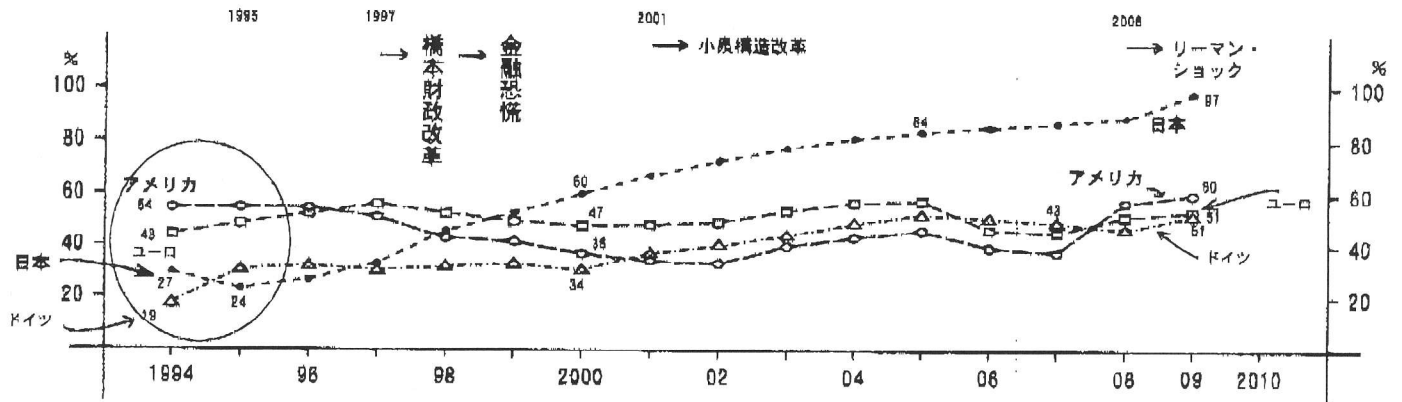
(出所) 「日本医師会総合政策研究機構」(前田由美子氏) 作成
『日医総研ワーキングペーパー』No.200. 2009 年
9 月 8 日「国家財政の分析」より作成

図表9 「①粗債務の GDP 比率」と「②純債務の GDP 比率」国際比較

①「粗債務の GDP 比率」の国際比較

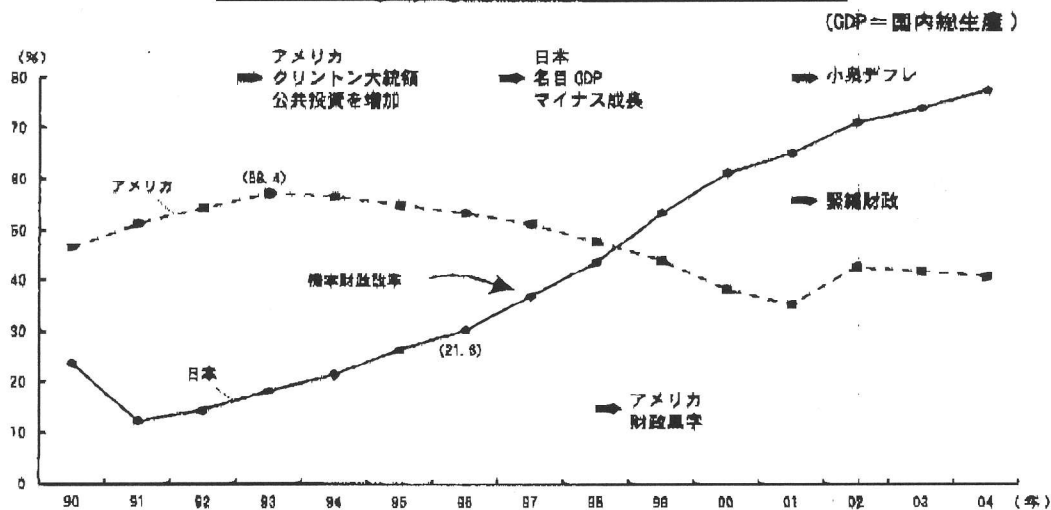


②「純債務の GDP 比率」の国際比較



〔出所〕 OECD データ (2009)

図表 10 日本の純債務残高の GDP 比率の推移

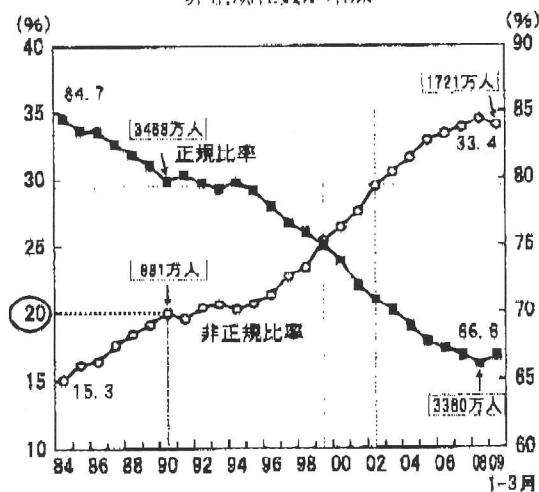


[出所] OECD データ 2005 年版より作成

積極財政で成功したアメリカ。緊縮財政で失敗した日本。好対照。

図表 14 雇用者における正規・非正規比率の推移

—非正規社員が増加—



(出所) 厚生労働省 2009

図表 22 主要国の国税収入全体に占める消費税の割合

(欧州主要国と日本の比較)

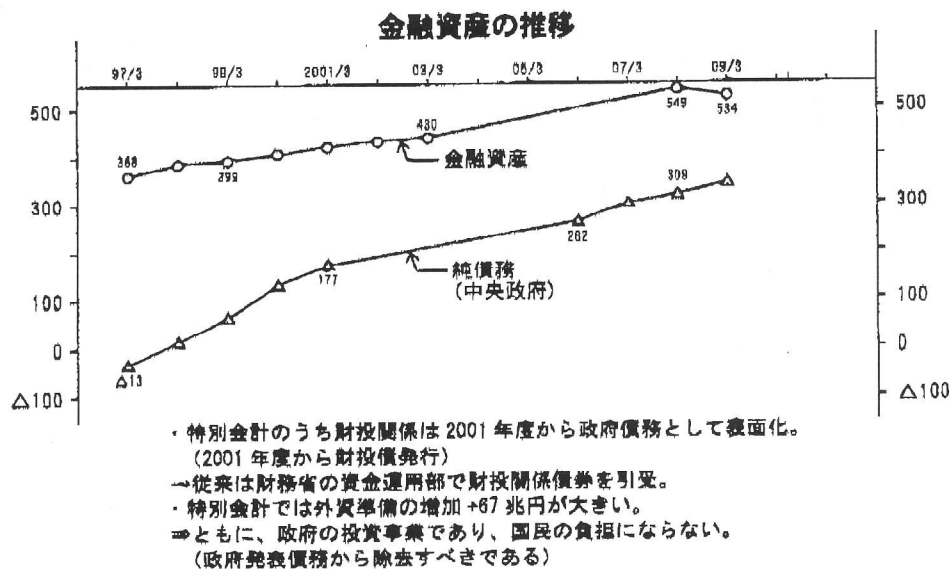
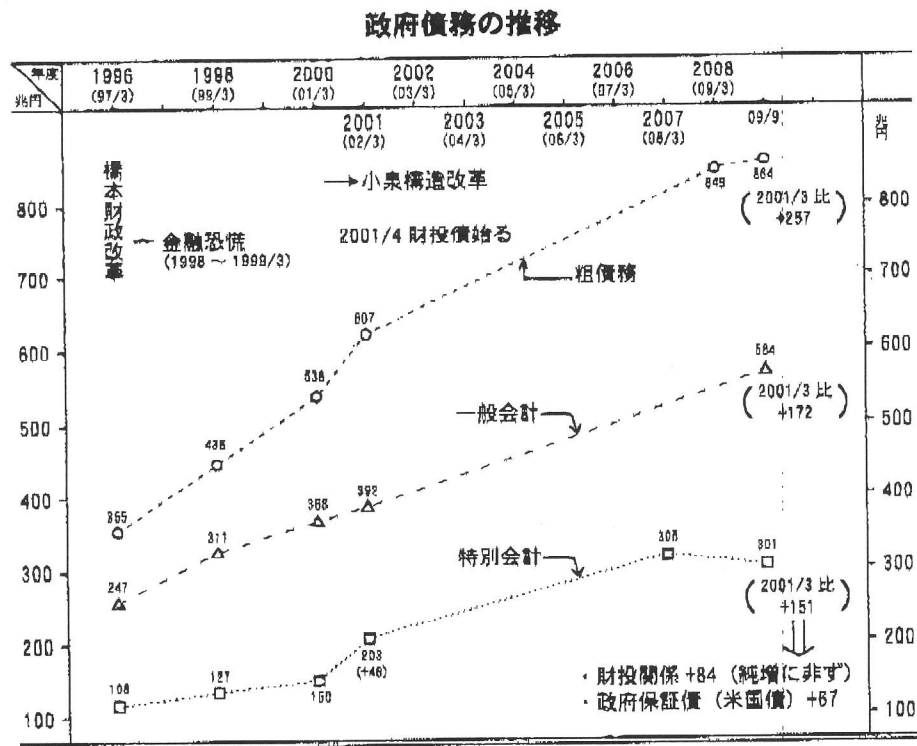
国別	税率・比率	国税の標準税率	国税に占める消費税の割合
イギリス		17.5%	21.4%
ドイツ		19.0%	34.1%
イタリア		20.0%	29.1%
スウェーデン		25.0%	18.3%
日本		5.0%	19.4%

(注) ①ヨーロッパ各国では食料品、衣料品は軽減税率。医療・教育、住宅取得、個人用不動産、衣料などは非課税。

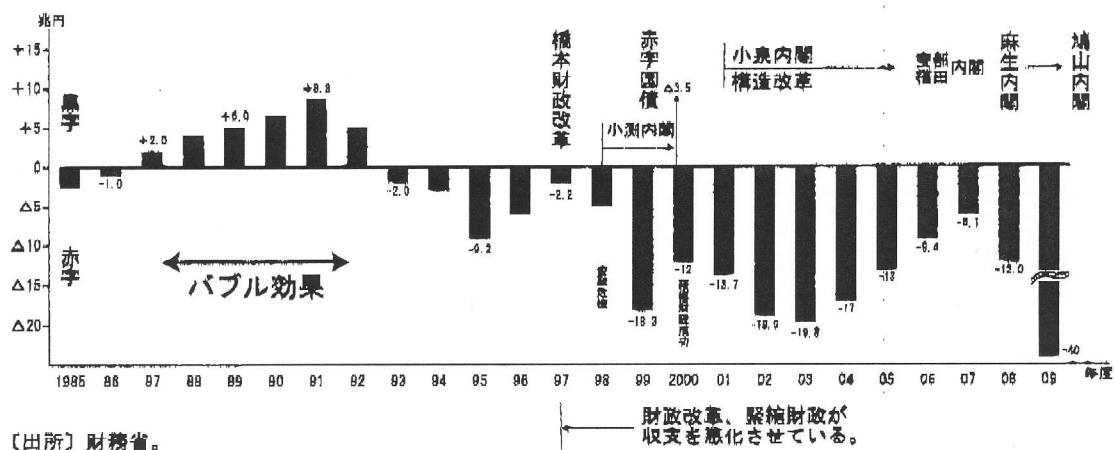
②アメリカでは、消費税は州税。国税は法人税と所得税。

(出所) 財務省・財務総合政策研究所編「税制金融統計月報2008.4」、及びOECD「歳入統計2007」より作成、推計値を含む。

図表 12 「政府債務の推移と金融資産の推移」



図表 11 小泉構造改革が基礎的財政収支を悪化させた

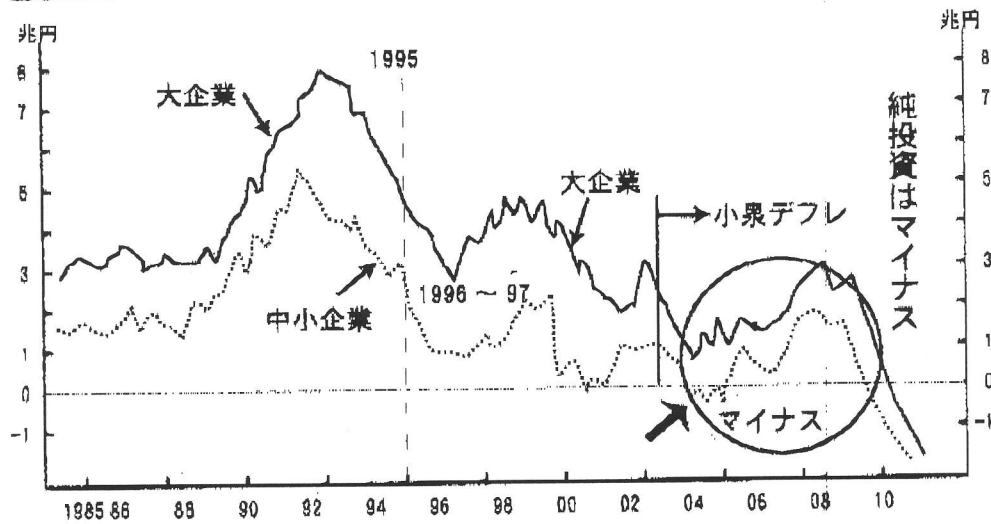


【出所】財務省。

図表 15 日本は民間も政府も投資が足りない

民間

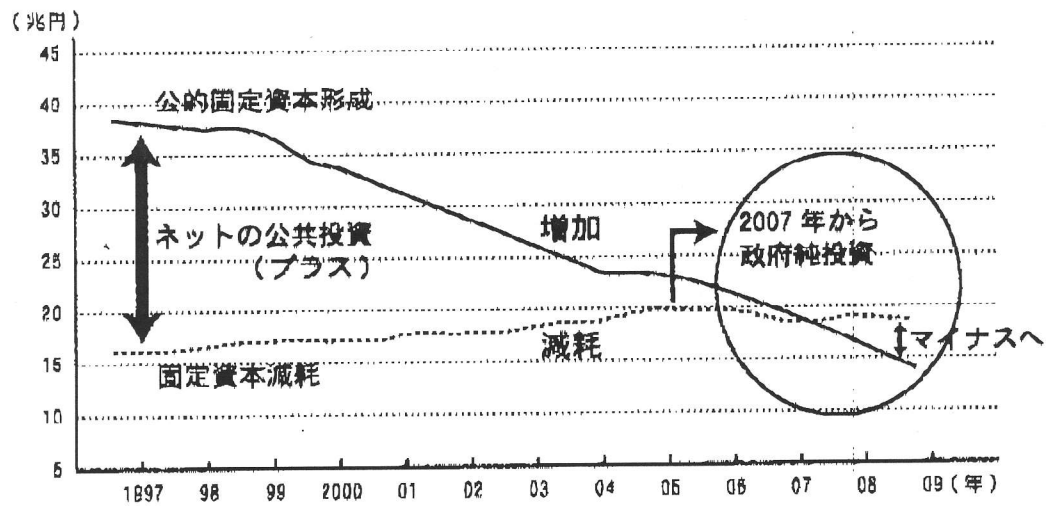
民間の純投資はマイナス



(出所) 財務省「法人企業統計」より大和総研作成

政府

ネットの公的固定資本形成 (政府の純資産)



(出所) 内閣府「国民経済計算年報」より矢野龍太郎氏作成